

リサイタル

若手に技術つなぐ



「独立当初は仕事をもらうのも一苦勞でしたが、順調に業容を拡大

し、4月に法人化。今後は内装や大規模修繕なども手掛けられるようになりたい」

とは塗装工事業の継匠の原田瑞輝社長（26歳）。大学1年生の時

に塗装業のアルバイトを始め、工事後の達成感などがやりがいとなり、卒業後に独立した。8月には安芸郡熊野町萩原4―14―12の建屋を購入し、事務所兼倉庫を構えた。社員7人のほか、協力会社4社を抱える。社員の平均年齢は20代前半と若く、あいさつや身だしなみに気を配り、元請けに爽やかな印象を与えられるよう心掛けているという。

「建設業界の担い手が少なくなる中、風通しのよい職場環境に注力。しっかりと職人を育て、社名のよいうに技術をつないでいける会社を目指したい」